

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 3 和歌山県	和歌山県は、みかんや梅などの生産が全国トップクラスであり、農業産出額の半分以上を果実が占めているのが最大の特徴です。選択肢にある新潟県は「米」、愛知県は「野菜」や「花」、北海道は「畜産」や「畑作」の割合がそれぞれ高く、都道府県ごとの気候や地形条件によって生産される品目の構成が大きく異なります。
問2	答え 1 臨海部は原料の輸入や製品の出荷に便利のため重化学工業が発展し、内陸部では歴史的背景を持つ繊維工業をブランド化して成長させている。	重化学工業、特に石油化学工業は原料となる原油を大型タンカーで輸入するため、水深の深い港を持つ臨海部にコンビナートが形成されました。一方、内陸部では古くからの農閑期の副業や特産品を起源とする地場産業が発展してきました。近年ではこれらの地場産業が、単なる伝統の継承にとどまらず、現代のニーズに合わせたブランド戦略を展開することで、地域の経済を支えています。
問3	答え 2 歴史ある神社仏閣を巡り、日本の伝統文化に触れること	京都府は、古くからの神社仏閣や街並みが数多く残されており、日本の伝統文化を体験したいと考える外国人観光客にとって非常に人気の高い観光地です。特にアメリカ合衆国などの欧米諸国からの観光客は、単なるショッピングやビジネスではなく、歴史的価値のある文化遺産の観光を重視する傾向があるため、他の都市部と比較して欧米からの宿泊者割合が顕著に高いという特徴があります。
問4	答え 3 世界文化遺産に登録された歴史的な建造物や街並みが存在すること	フランスからの旅行者は日本の歴史や伝統文化に対する関心が非常に高いことが知られています。奈良県の「法隆寺地域の仏教建造物」や「古都奈良の文化財」、広島県の「厳島神社」、栃木県の「日光の社寺」、岐阜県の「白川郷・五箇山の合掌造り集落」のように、世界文化遺産がある地域は、日本の歴史的な文化財を求める旅行者の主要な目的地となっています。
問5	答え 4 京都府は宿泊・飲食サービスの売上高の割合が高く、兵庫県は製造業出荷額や畜産業の産出額が大きい	京都府は京都市を中心に多くの歴史的建造物があり、国内外から多くの観光客が訪れるため、宿泊・飲食サービスの売上高が他の府県に比べて突出しているのが特徴です。一方、兵庫県は阪神工業地帯や播磨工業地域を含み、鉄鋼や造船といった重化学工業が発達しているため、製造業出荷額が大きくなります。また、兵庫県は「但馬牛」に代表されるブランド畜産が盛んであり、農業産出額に占める畜産の割合が高いことも重要な特色です。
問6	答え 3 都市近郊農業	大都市の周辺で、輸送コストを抑えつつ新鮮な農産物を供給する農業を都市近郊農業と呼びます。大阪府などの大都市圏では、限られた農地を有効活用し、市場の需要が高い野菜を重点的に生産する傾向があります。
問7	答え 4 景観の保全	京都市は平安京以来の長い歴史を持つ都市であり、伝統的な木造建築が立ち並ぶ風景は重要な文化的価値を持っています。そのため、条例によって看板の色や建物の高さを制限し、街全体の統一感を維持する「景観」を守る取り組みが全国的にも有名です。これは単なる観光資源の保護だけでなく、地域のアイデンティティを維持する役割も果たしています。
問8	答え 2 奥行きのある入り江は波が穏やかであるため、真珠やカキなどの養殖業や天然の良港として利用される。	入り江が陸地の奥深くに入り込んでいるため、外洋の激しい波が遮断され、水面が非常に穏やかになります。また、沈降によって水深も十分に確保されるため、大型の船が停泊する港や、波の静かさが求められる魚介類の養殖に適した環境となります。
問9	答え 2 淀川などを通じて、下流に位置する京都府や大阪府などの生活・産業を支える水源となっている。	琵琶湖から流れ出る瀬田川は、宇治川、淀川と名前を変えて大阪湾へと注ぎます。この水系は、滋賀県内だけでなく京都府、大阪府、兵庫県などの約1,400万人の飲料水や、阪神工業地帯の工業用水を供給する極めて重要な役割を担っています。なお、日本で2番目に大きい湖は霞ヶ浦であり、琵琶湖は塩分を含まない淡水湖です。
問10	答え 1 高度な技術を持つ中小規模の工場が、東大阪市などの内陸部に密集している。	大阪府の製造業は、1事業所あたりの従業員数が比較的小さい中小企業の割合が非常に高いことが特徴です。特に金属製品や機械部品の分野では、世界的に高いシェアを持つ製品を作る「まち工場」が密集しており、これが事業所総数の多さや、金属製品の割合の高さにつながっています。
問11	答え 4 大津市	滋賀県の県庁所在地は、琵琶湖の南西端に位置する大津市です。大津市は古くから水上交通や陸上交通の要所として栄え、現在は隣接する京都市などのベッドタウンとしての性質も持っています。選択肢にある彦根市は琵琶湖東岸に位置する城下町、草津市は大津市の東側に隣接し近年人口増加が著しい都市です。
問12	答え 2 須磨ニュータウンなどの大規模な住宅団地の整備と入居の開始	神戸市須磨区では、1970年代後半に大規模な住宅団地である「須磨ニュータウン」への入居が本格化したことで、短期間に大幅な人口増加が見られました。このように、地方自治体による計画的な都市基盤整備は、特定の地域の人口動態に大きな影響を与えます。高度経済成長期からその後の安定成長期にかけて、都市部への人口集中に対応するために各地でこのようなニュータウン開発が進められました。